

こちら

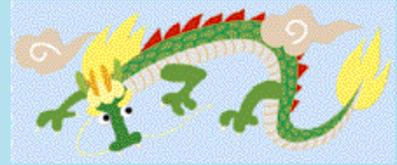
議会広報部

2012.1
第28号

発行 / 周防大島町議会
〒742-2192
周防大島町大字小松126-2
TEL: 0820-74-1003(議会事務局)
編集 / 議会広報編集特別委員会
印刷 / (有)日良居タイムス

今回の主な内容

12月定例会.....	2~3P
一般質問.....	4P
各委員会視察研修報告	5~7P
その他.....	7P
新年の抱負.....	8P



日良居保育園（もちつき大会）

12月定例会

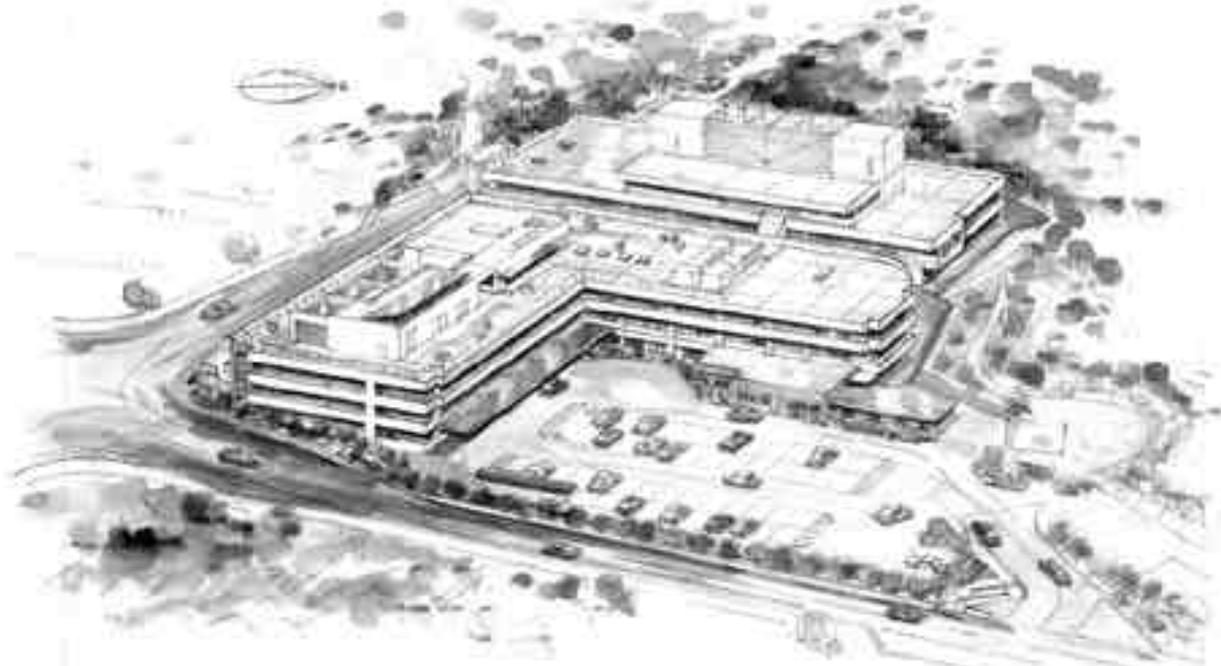
補正予算・条例の一部改正・諮問案件をそれぞれ可決

諮問

人権擁護委員 竹本三千之氏(棕野)

東和病院東棟改築へ

東和病院東棟は、平成24年初頭より第一期解体工事、第一期改築工事、第二期解体工事、第二期改築工事等を経て、平成26年春に完成の予定です。既存の西棟とは各階連絡し、病院への入り口は県道の下田側になります。



条例の一部改正

周防大島町土地改良事業の賦課徴収に関する条例

規約の変更

山口県市町総合事務組合の共同処理する事務及び山口県市町総合事務組合規約

平成23年度補正予算

	増減(千円)	総額(千円)
一般会計	5,574万6	149億2,299万5
国民健康保険	1億456万7	35億9,787万9
特別会 計		
後期高齢者医療事業	▲586万3	4億1,474万2
介護保険事業	▲136万2	32億2,944万9
簡易水道	▲1,249万6	9億6,572万
下水道	▲413万5	4億6,994万8
農業集落排水	190万3	3億1,922万
公営企業同	399万6 (資本的支出)	10億8,836万
	東和病院東棟改築対策工事の総事業費を、16億8,363万円とする	

樋の口地区(東屋代)ため池整備

周防大島町大字東屋代樋の口。受益戸数11戸、受益面積2.2ha、堤長58m、事業費5,000万円。



請願・陳情・要望

動産の買入れ契約3件を締結

買入物品	契約方法	契約会社	買入金額 (円)
患者輸送車(マイクロバス)	指名競争入札	(有)岡田モータース	722万7,530
防災備蓄倉庫整備事業備品 (備蓄倉庫9棟等)	指名競争入札	(株)ハッタ山口	6,667万5,000
避難所用投光器整備事業備品	指名競争入札	(株)ハッタ山口	1,248万4,500

工事請負契約1件の締結

工事名	入札執行日	札数	落札会社	入札金額(消費税込)(円)	比率(%)
平成23年度 白木(外入)漁港 海岸保全施設整備工事	H23年11月17日	10社	(株)大野工業	4,866万3,597	85.1

〈陳情・要望〉

- ◎平成24年度町予算編成に際しての商工会助成について (山口県商工会連合会より)
- ◎柑橘選果場統合に伴う要望について (山口大島農業協同組合より)

町政転流 (23) TPP (環太平洋経済連携協定) 参加に反対する意見書を採択

野田首相は11月にハワイで開催されたAPEC (アジア・太平洋経済協力会議)に参加した際、「TPP交渉に向けて関係国との協議に入る」ことを表明しました。しかしTPPに関する政府の情報公開や国民的議論は十分に行われていない状況にあります。

TPP参加は、例外なき関税自由化となる恐れがあり、将来日本のあるべき姿を変えてしまうのではないかと、多くの団体から疑問の声が上がっています。とりわけ農業団体・漁協団体からは食の安全性に逆行するとともに食料自給率は現在の39%から13%に落ちるとして反対の声が上がっています。

又日本医師会からは、将来にわたって日本の国民皆保険制度の堅持が困難になり、混合診療の全面解禁による医療格差の発生などにより公的医療保険制度の崩壊につながると表明しています。

周防大島町議会は以上の観点に立ち、町内のTPP参加反対の団体個人と連携すると共に野田内閣が拙速にTPPに参加しないよう求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。 平成23年12月20日

提出者

周防大島町議会議員 杉山藤雄

賛同者

周防大島町議会議員 安本貞敏

〃 松井岑雄

〃 田中隆太郎

〃 久保雅己

〃 広田清晴

提出先

内閣総理大臣 農林水産大臣

衆議院議長 参議院議長 あて

ガラス張り町政実現！

広田 清晴 議員

問 入札妨害に対する法律上の認識と発生時の周防大島町としての対応を問う。

答 刑法96条の6は3年以下の懲役、もしくは250万円以下の罰金。時効については3年と認識。妨害の証拠、通報者の指名が明らかな時、捜査機関に報告を行う必要があると考えている。

問 観光協会に対する補助金（1,972万5千円）は、団体補助の扱いのままでは補助金がないに使われたかが不明朗。事業費補助（補助金使途の明確化）に変更するように、又決算書は分かりやすいものの提出を求める。

答 一般社団法人周防大島観光協会にある程

度の裁量権をもたせたい。決算報告の内容等様式については改善したい。

問 大島中学校スクールバス（三浦大島線、沖浦大島線）の委託契約業者は協定書のとらえ方に問題があり、社会的問題がある。

答 運行会社のとらえ方に相違が生じないよう仕様書等の一層の整備をしたい。労使間のトラブルが発生しないよう雇用の際には労働条件等文書で確認するよう指導の徹底を図る。又指摘の点は調査し運行会社に是正改善の指導をする。



観光協会が入る 久賀ふるさと館

人口定住施策は急務！

中本 博明 議員

問 昨年の国勢調査で、本町は人口減少率が県内でトップであった。人口減少に歯止めをかけるには、出生者数に頼るだけでなく、他地区からの移住者の増加が必要。佐賀県の旧背振村では、村が造成した土地を1坪当たり月100円で貸し出し、15年間住み続ければ、土地は無償譲渡される。この事業は1996年から初められ、200人以上の転入があり、効果が出ている。本町でもこのような取り組みを展開してはいかがか。

答 本町では、ガルデンヴィラ大島のように周防大島町の自然と環境を体験できる場を設け、移住を希望される人に対し空き家の提供を行っている。提案いただいたような土地利用対策は、移住を考えられている方々がその一步を踏み出す際の大きな推進

力としては、有効と考えるので、民業の動き等に注意しつつ定住対策の手法として研究したいと思う。

移住場所の提供と合せ、移住後の生活設計が立てられる経済環境の整備も必要。近年、島内の若者やUJイターンされた方々による起業の取組み等が見られる。今後このような移住を後押しするための産業興しの取組み等も考えて行きたい。



ガルデンヴィラ大島

委員会行政視察研修報告

行政視察研修

実施日 平成23年10月24日～10月26日

視察地 青森県三沢市 三沢空港

視察地 宮城県仙台市・多賀城市

報告者 尾元 武

3 常任委員会が合同企画で実施した行政視察研修が10月24日から26日まで行われた。今回の研修は、平成24年度開港予定の岩国錦帯橋空港と同じ、全国的にも数少ない軍民共用空港である三沢空港を視察した。本空港は青森県の太平洋岸東南部にある三沢市のほぼ中央に位置し青森県東部の玄関口となる空港である。

基地の滑走路を民間航空機が利用するため、通常は仕切られている電動ゲートが離着陸の際のみ開くというセキュリティの高いシステムを視察し、翌日は航空自衛隊（三沢基地）内研修室に於いて日本の北部方面の治安を自衛隊とアメリカ空軍が協調関係を保ちながら進めていることや、地元三沢市との友好的な連携などの現状説明を受けた。岩国錦帯橋空港開港後の本町の対応等に役立てていきたいと考える。



米軍・自衛隊・民間共用の三沢空港

翌日、昨年の3月11日未曾有の大被害をもたらした東日本大震災、その津波の被害を受けた多賀城市や仙台市などの被災現場を視察した。

震災から7ヶ月以上経過した現地は、主要道路の残骸などは片付けられていたものの、空き地に高く積み上げられた廃車や建築廃材が山のように点在していた。又、1階部分のシャッターがめくれて壊れたままの大きな倉庫、曲がったままの信号機や電柱など、当時の惨状が多数残っており、この復旧には相当な年月と莫大な経費が必要であろうと感じたのは、私だけではなかったらと思う。

自然災害の脅威を目の当たりにし、2万人に及ぶ亡くなられた方・行方不明の方々のご冥福をお祈りするとともに、現地の一日も早い復興をお祈りし、私たち一人ひとりが何らかの形で復旧のお手伝いをするのでないか、災害に対する防災や減災についても、自主防災組織の在り方をはじめ今までとは違った取り組みが必要と痛感した。

今回の研修には15名の議員が参加。日程的に強行軍のところもあったが、大変意義深く終えることができた。



積み上がるガレキ

地域活性化特別委員会 視察研修報告

実施日 平成23年11月17日～18日

視察地 鳥根県江津市 桜江地区 「NPO法人結まーるプラス」

視察地 広島県 神石高原町

報告者 今元直寛

11月17～18日の両日にわたり鳥根県江津市(ごうつし)の山間部、桜江地区で活躍している「NPO法人結まーるプラス」理事長かわべまゆみ氏との意見交換、広島県福山市の北側にある神石高原町に現地視察研修を行った。

旧桜江町(人口3,500人)は平成16年に日本海側にある江津市と合併した鳥根県西部石見地方の町である。かわべ氏は、平成11年にご主人の故郷へイターンし種々の町づくりに携わり、平成17年前述のNPO法人を設立、都会のニーズに結びつける情報を発信し続けている。NPO法人設立には現職の行政マン、建設会社を始め民間企業の社員、農林事業従事者、地元で神楽をしている人などいろいろな分野で活躍している方々が参加した。

空き家の活用、定住施策について、もともと、定住希望のニーズはあった。しかし、具体的な交渉に入るとよそ者には貸したくないとの根強い感情があり、宅地建物取引業法に抵触するトラブルも考えられる為「宅地業の特認認定」を受けて活動している。その結果2、3年で定住人口は250人に達している。3,500人の地区に250人の定住者が占める割合はかなりの数値になる。定住者の一組、福岡から来た50代の夫婦は、荒れ果てた桑畑を再生して桑の葉から「桑茶」の製造、販売もしている。今では売り上げ3億円にまで成長し、パート従業員まで入れると50人程度の雇用を生んでいる。また、現在使用しているNPO法人の事務所は、無人化していたJR三江線川戸駅舎の利用である。元々桜江地区の中心地であったため地元のイベント企画、情報の発信、気軽に立ち寄るサロン、また、なんでも相談に乗ってもらえる駆け込み寺的要素を持った心温まる場所であった。

ここでかわべまゆみ氏が力説する「定住促進の5ヶ条」と「空き家活用の5ヶ条」を紹介します。

～定住促進5ヶ条～

1. 定住は「数」ではなく、「質」。「質」を追えば、やがて「数」につながる。
2. 「良い人」が来れば地域は良くなる。「良い人」とは「地域を愛する人」。
3. 「定住」とは「結婚」のようなもの。相性が合わなければ縁は結ばない。お互いのために。
4. 「定住してきた人」は地域のお仲間。細くとも、未長～く仲良くお付き合い。
5. 「交流から定住」は私たちの地域にはあてはまらない。

～空き家活用5ヶ条～

1. 空き家の放置は、地域の迷惑。過疎化を進ませ、地域の衰退と荒廃を加速する。
2. 故に、「空き家放置罪」とまでいわないけれど、「空き家放置税」くらいどうだろうか。
3. とにかく試すべきは、「地道に成功事例を作ること」空き家も人も自ずと集まる。
4. 忘れるな。「空き家活用」も「定住」も、あくまで手段、目的ではない。
5. 以上、すべてのこだわりは、純な「地域愛」があればこそ。

また、「石見問屋」と銘うったネット販売組織があり、徹底的に吟味し開発した石見地方ならではの物品を世界に発信している。

神石高原町の研修報告は、紙面の都合により次回29号に掲載します。



かわべ氏とともに

公共施設視察研修 風光明媚な施設にもっとお客を

片添ヶ浜温泉・片添ヶ浜海浜公園・サン・スポーツランド片添

報告者 安本 貞 敏

年の瀬の12月16日寒風の吹く中で第5回目の公共施設研修を行なった。

この度は、「片添ヶ浜温泉と片添ヶ浜海浜公園、サン・スポーツランド片添」を訪問した。

まず、東和ふるさとセンターの平岡所長さんより概況説明をうけ、質疑応答の後温泉施設に移動した。

温泉施設の名称は片添ヶ浜温泉遊湯ランドと称し、平成4年度に温泉掘削した。

地下1,000m掘削し工事費は99,999千円で湧出量320t/日（動力）

敷地面積1,238㎡の用地に色々な施設があり、毎週水曜日の休館日以外は連日好評である。

泉質は含弱放射能 - ナトリウム - 塩化物冷鉱泉で幅広い効果がある。

旧東和町内に無料バスを走らせ住民へのサービスを行っているが、もっと工夫して集客へ努力して欲しいと思うものだ。

次に、オートキャンプ場内にあるコテージを訪れた。

4人用コテージ全4棟、6人用コテージ全3

棟あり、各部屋にバス・トイレが付いており食材の持ち込みにより楽しく過ごすことができる。

夏季8月の利用予約開始は5月第2月曜日、テントサイトはその翌々日の水曜日となっている。

コテージ内から見下ろす風景は絶景であり、前面は海が見渡せその向こうは愛媛県の島々と三津ヶ浜周辺地域のコンビナートも見られる。

平岡所長さんの案内に全員感慨深いものを得られた。

周防大島町にこんなにスバラシイ施設があることを、もっと地域外の方々へ宣伝し、集客に努めて欲しいものである。



説明をうける参加議員

議員派遣

行事内容	日程	開催地	目的・参加議員
東京久賀倶楽部	1月15日	東京都	会員との情報交換 平川敏郎、布村和男
東京たちばな会	2月25日	東京都	会員との情報交換 安本貞敏
関西楠町人会	2月26日	大阪市	会員との情報交換 安本貞敏

編集後記

新年おめでとうございます。卯年から辰年に移り2012年がスタート。元日から3日間、お屠蘇気分の中、実業団駅伝・箱根駅伝の熱い戦いを堪能した。今年も数々のドラマが生まれた。タスキの渡らないチームもあったが、疲れた身体を奮い立たせ、なんとしても、次の選手にタスキを繋ごうとする姿は私達の心を強く打つものがあった。

政治に目を向けると、消費税増税議論一色である。消費税アップについては賛否両論色々あると思う。しかしながら、その前に、国会議員自ら身を切る決意の議員削減や、公務員改革、特別会計などの無駄の削減、また景気対策、雇用促進などの方向性を示さないと、国民の理解は得られないであろう。

なにはともあれ、辰の字には、「草木の形が整った状態」を表す意味があるという。今年一年が日本にとって、竜のように天高く飛翔する年であって欲しいものだ。（布村）

新年の抱負



議長 荒川 政義

新年あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願ひ致します。

さて、昨年を振り返ってみますと、東日本大震災が3月11日に起き、同時に福島第一原子力発電所の事故と生まれて此の方出合ったことのない災禍に見舞われ、「想定外だった」では片付けられない思いで一杯でした。私たち町議会もいち早く義援金を、町当局も義援金・物資・職員の派遣と、復旧、復興に協力して参りました。

現地を見る限り原発事故の影響は深刻であり、復旧、復興の遅れが気にかかります。政治家の軽率な発言で国会が思考停止、「おじれ国会」の中、何を考えているのですかね？この様な議員がいる限り、「復旧、復興」も「日本の将来」も不安でなりません。

しかし、7月には女子ワールドカップで「なでしこジャパン」が初優勝と久々に潮風が下がる思いがしました。選挙手のポレキックの同点ゴール、脳裏に焼き付いています。

昨年を区切り、経済も政治も期待できるといいのですが、

周防大島町では東和病院の耐震改築が始まり、榎木町政1期目の最後の年となります。4年間の検証をしながら、住民福祉の為、お互いに頑張りたいと思います。



副議長 小田 貞利

町民が地域格差なく、公平な行政サービスが受けられるように、努力致します



総務文教常任委員会

委員長 魚谷洋一 本年も、皆様とともに全力投球です。

副委員長 平野和生 大島に一人でも多く足を運んでくれるよう努めます。

委員 新山玄雄 あせらず、くさらず、あきらめず。今年も力を合わせて町づくりを！

魚原満晴 「粉骨砕身」骨身をおします力の限り努力いたします。

中本博明 今年は、人口定住に努力をします。

平川敏郎 初心貫徹

荒川政義 上記

民生常任委員会

委員長 尾元 武 初心にて 年の初めに神慕い「絆」噛みしめ この町に行く。

副委員長 布村和男 活力ある町づくりに頑張ります。今年が飛躍の年でありますように。

委員 広田清晴 憲法・地方自治が尊重される町。ガラス張りの町政実現に全力。

中村美子 力を合わせて暮らせる地域づくりに、信念を持って取り組みます。

今元直寛 自分達の命と町を守るのは日頃の防災意識と地域の人々との絆です。

小田貞利 上記

建設環境常任委員会

委員長 安本貞敏 初心を忘れず、町民の目線で元気よく取り組みます。

副委員長 松井岑雄 謹賀新年。本年も良い年になる様、町民の皆様のため全力投球!!

委員 田中隆太郎 朝に発意、昼に実行、不言実行で頑張ります。

杉山藤雄 「備えあれば憂いなし」頻発する異常気象について対策を考える。

久保雅己 初心に返り、町民の声を町政に繋ぎあわせるよう、全身全霊で邁進致します。

神岡光人 病気療養中